

1 3. 輸血製剤廃棄率

算式

【分子】 廃棄赤血球製剤単位数

【分母】 使用輸血赤血球製剤単位数 + 廃棄赤血球製剤単位数

定義

輸血用血液・血液製剤のうち廃棄された血液・血液製剤の割合

指標の解説

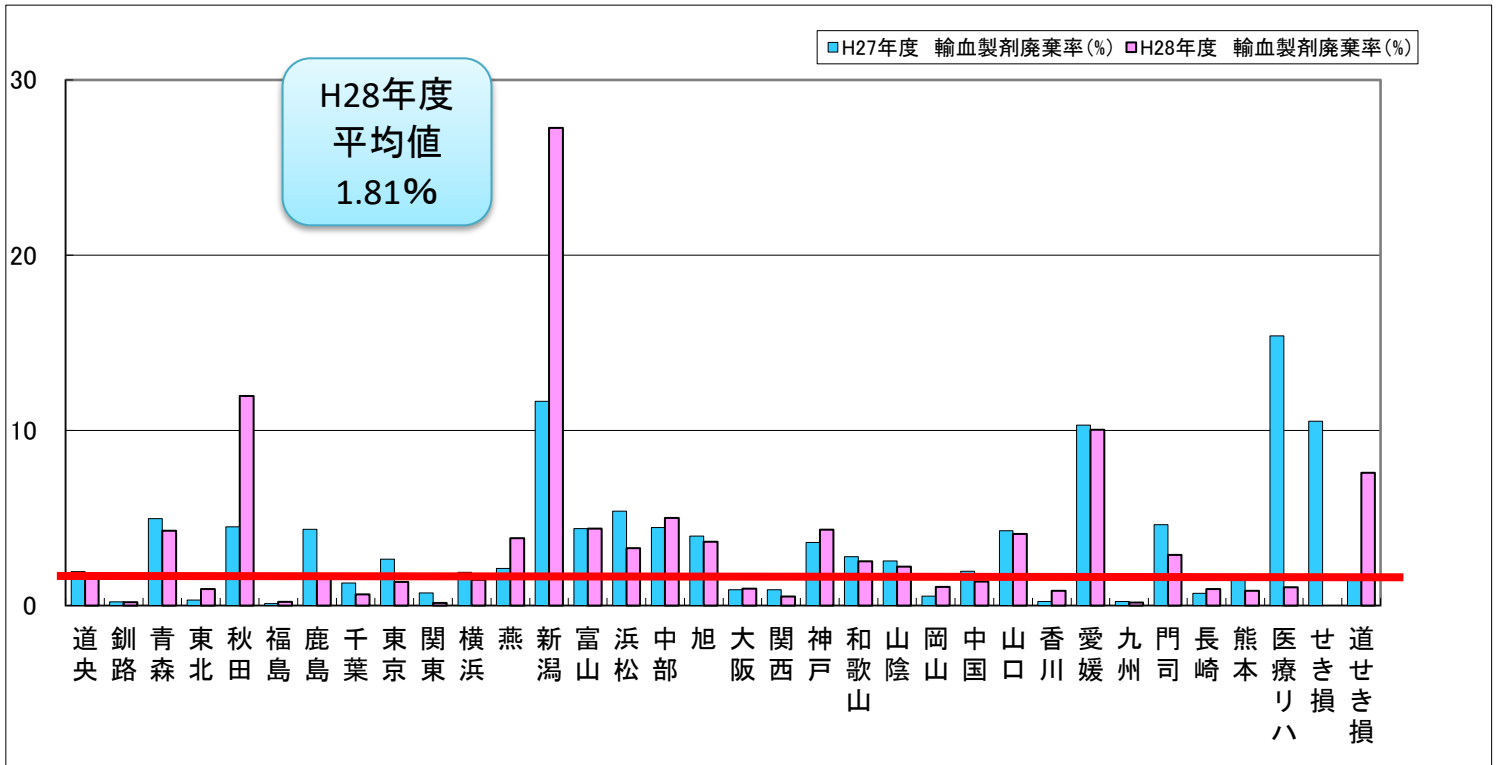
施設調査より抽出

医療資源の有効活用に関して、輸血用血液の適切な管理・使用状況について輸血製剤の廃棄状況から評価する。

廃棄率が低い場合には、輸血製剤が適切に管理・使用されていると評価できる。

(注) 当該指標については、病院と血液センター間の距離が影響しており、都市部（輸血センターから近距離）と地方（輸血センターから遠距離）の病院で大きく差が出る傾向にあります。また、地方の病院においては、不測の事態に備えて血液製剤をストックしておく必要があるため、結果として廃棄率が高くなる傾向にあります。

1.3. 輸血製剤廃棄率



No	施設名	H27年度			H28年度		
		分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)	分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)
1	道央	620	12	1.94	565	10	1.77
2	釧路	4,906	10	0.20	4,095	8	0.20
3	青森	2,012	100	4.97	1,920	82	4.27
4	東北	2,520	8	0.32	2,774	26	0.94
5	秋田	779	35	4.49	502	60	11.95
6	福島	1,900	2	0.11	1,976	4	0.20
7	鹿島	230	10	4.35	224	4	1.79
8	千葉	4,647	60	1.29	4,333	28	0.65
9	東京	1,733	46	2.65	1,929	26	1.35
10	関東	7,216	52	0.72	7,748	12	0.15
11	横浜	5,668	108	1.91	6,117	90	1.47
12	燕	1,505	32	2.13	1,666	64	3.84
13	新潟	1,329	155	11.66	792	216	27.27
14	富山	1,138	50	4.39	1,276	56	4.39
15	浜松	2,168	117	5.40	1,895	62	3.27
16	中部	2,378	106	4.46	1,920	96	5.00
17	旭	1,388	55	3.96	1,374	50	3.64
18	大阪	6,358	58	0.91	6,236	60	0.96
19	関西	10,016	91	0.91	9,693	50	0.52
20	神戸	1,305	47	3.60	2,146	93	4.33
21	和歌山	2,769	77	2.78	2,901	73	2.52
22	山陰	3,618	92	2.54	3,546	79	2.23
23	岡山	3,728	20	0.54	3,192	34	1.07
24	中国	1,948	38	1.95	2,048	28	1.37
25	山口	2,062	88	4.27	1,810	74	4.09
26	香川	4,276	10	0.23	4,246	36	0.85
27	愛媛	952	98	10.29	638	64	10.03
28	九州	4,292	10	0.23	3,606	6	0.17
29	門司	738	34	4.61	901	26	2.89
30	長崎	2,265	16	0.71	2,553	24	0.94
31	熊本	3,502	62	1.77	3,828	32	0.84
32	医療リハ	26	4	15.38	386	4	1.04
33	せき損	76	8	10.53	106	0	0.00
34	道せき損	353	6	1.70	502	38	7.57
合計		90,421	1,717	1.90	89,444	1,615	1.81
平均	500床以上	5,693	71	1.24	5,748	56	0.97
	400床以上	3,443	29	0.85	3,292	23	0.69
	300床以上	2,412	69	2.85	2,504	55	2.21
	300床未満	667	29	4.41	696	49	7.00